

(株) 第一興商 第38回番組審議会議事録

○日 時 2024年3月19日(火) 16:00~17:30

○場 所 (株)第一興商本社 3F会議室

○第一興商報告

◇2023年度 第一興商トピックス

◇スターデジオトピックス

○審議課題

◇スターデジオ『Ch.457 オールディーズ、50&60年代洋楽』

◇スターデジオ『Ch.425 歌謡曲セレクション』 ※2024年4月1日~新チャンネル

・番組説明(放送楽曲、ターゲットや編成意図について)

・番組審議

番組審議会委員・出席一覧(敬称略)

《出席者》

弦 哲也 作曲家 日本作曲家協会会長(審議会委員長)

音 好宏 上智大学教授

湯川 れい子 作詞家/音楽評論家

ボブ 佐久間 作曲家/編曲家/指揮者

伊藤 薫 作詞家/作曲家

渡辺 俊幸 作曲家/編曲家/音楽プロデューサー

日本作編曲家協会副理事長

(株)第一興商・出席者一覧

保志 忠郊 代表取締役社長

渡邊 泰人 専務執行役員 エンターテインメント事業本部長

大山 健 エンターテインメント事業本部副本部長

渡辺 宏 BGMメディア推進部 部長

八巻 任 BGMメディア推進部 次長

吉倉 聡 BGMメディア推進部 放送制作課 課長

番組審議会事務局 宮本、磯部

1. 第一興商報告

◇2023年度 第一興商トピックス

・カラオケ、エルダー、パーキング、店舗 各事業展開

◇スターデジオトピックス

・衛星放送終了について

・改編について

2. 番組審議

<番組説明>

□スターデジオ『Ch. 457 オールディーズ、50&60年代洋楽』について

【コンセプト】

1950、60年代の古き良き洋楽の名曲集。オールディーズの魅力を見直し、
時代を超え、懐かしさと新鮮さが混在するメロディーで、プレミアムな時間と心地よさをコンセプトに選曲。

番組構成 : 4時間番組(毎週更新)、オムニバス形式
構成楽曲 : ポップス、ロックンロール、ロカビリー、ドゥーワップなど
視聴ターゲット : バー、パブ、スナックなどの各種店舗・施設
期待する効果 : バーにおいては、お客様の滞在時間を伸ばし飲食オーダー増
スナックにおいては、歌唱意欲・歌唱度数の向上

○局側説明:

バー、パブ、スナックなど飲食や会話を楽しむ空間において、お客様がリラックスし、プレミアムな時間と心地よさを提供できる一助となれるよう努めている。1950年代中頃から1960年代全般のポップス系を主体として、ロックンロール、ソウル、フォーク、カントリーなど、様々なジャンルからキャッチーでこの時代を彩った作品をセレクト。シングル盤B面曲などにもスポットを当て、日本独自にヒットした洋楽ソングもピックアップ。この時代の空気を感じられるような選曲を目指している。
ご意見を伺いたい。

◎審議委員:

ターゲット層は70~80歳あたりかと思う。Neil SedakaのCalendar Girl、The Platters、グループサウンズが流行したThe Animals、The Ventures、The Beach Boysなど、当時の洋楽ヒット曲が含まれていてもよいのではないだろうか。

Simon & Garfunkelが選曲されているが、フォーク・アコースティックギター系の音楽なので、このような楽曲までオールディーズと呼んでいくのかどうか。

オールディーズはもう少しリズムがあるロックンロールなどのジャンルを想像するが、当時のヒットポップスということでフォーク系のもを含めていくというコンセプトであれば、Peter, Paul and Maryなども選曲されるのもありかもしれない。

◎審議委員:

大ヒット曲なのに、本人歌唱ではなくカバー曲が選曲されているので、マニアックな方が聴けば面白いチャンネルかもしれない。ただ、そういう方がこのチャンネルを推奨している店舗へ、足を運ぶのかなと思う。テンポやキーを合わせるなど、テクニカルな部分はしっかり考えて選曲されているが、知らない楽曲が多い印象を持った。4曲に1曲

は、サビくらい口ずさめるヒット曲が選曲されているとよい。

◎審議委員：

日本で知名度のあるアーティストはたった3人しかいなかった。おそらく選曲の際、アメリカのチャートを参考にされたかと思う。オールディーズで50年代、60年代洋楽ヒットと言われて聴いても“1曲も知らないよね”で、終わってしまうのではないか。

◎審議委員：

50&60年代の音楽を親しんで聴いてくださるターゲット層を考えると、その方達が来店される可能性は少ない。スターデジオを店舗で聴いている方達の年齢層を考えると、少し時代が古すぎるのではないか。BGMとしての耳触りのよい音楽と考えた場合、DJやナビゲーターのトークを4曲に1度入れてみるのはいかがだろう。音楽と関係のないトークでもよいし、英語のDJでところどころに耳触りよいトーキングが入ると、全く知らない曲でも1つのBGMとして成立するのではないか。

◎審議委員：

知っている曲はほとんどなかったが、演出上で一工夫入ればより良いチャンネルになるだろう。

□スターデジオ『Ch. 425 歌謡曲セレクション』 ※2024年4月1日放送開始

【コンセプト】

ありそうで無かった歌謡曲専門チャンネル。

多くの人々に愛され、耳に残るメロディーラインと心に刻むフレーズ。

現代音楽シーンでも継承される、昭和の名曲から最新の歌謡曲までを織り交ぜ、

心地よい空間とカラオケ歌唱度数アップをコンセプトに選曲。

番組構成 : 4時間番組(毎週更新)、オムニバス形式

構成楽曲 : 昭和歌謡・ポップス、ムード歌謡など

視聴ターゲット : スナック、カラオケ喫茶などカラオケ導入店の他、居酒屋など

期待する効果 : 歌唱意欲・歌唱度数の向上

居酒屋においては、お客様の滞在時間を伸ばし飲食オーダー増

○局側説明：

スナック、カラオケ喫茶、カラオケ導入店など、店舗を利用されているお客様の気持ち楽しく過ごせる空間と、店内から流れてくる楽曲によって「そうだ、この歌があった！」等の気付き、「よし、この歌を歌ってみよう！」など、カラオケ歌唱度数アップに繋がる選曲を心がけている。ポップス、ムード歌謡など新旧の楽曲をランダムに選曲し、定番

曲を軸に中堅、若手の曲も織り交ぜた幅広い構成となっている。
ご意見を伺いたい。

◎審議委員：

その意図している内容に相応しいという印象。
懐かしい楽曲が中心に組まれているので、個人的には良いチャンネルだと思う。

◎審議委員：

知っている曲がとても多く、非常に気持ちよく聴かせていただいた。若い方の楽曲は、なかなか浸透しきれないので、新曲を広めていく試みは非常に良いと思う。カラオケを多くの年代の方に歌っていただけるよう、若い方の楽曲をどんどん聴かせて、新旧の楽曲を織り交ぜている点においても、御社の役割として非常に素晴らしい。

◎審議委員：

カラオケ文化において、音楽にもっと親しみを持ち、日常生活の音楽の中から歌う若い方が減ってきたように感じる。せっかくこのようなチャンネルがあるので、もう少し年齢層を広げてみるのもよいのではないか。

◎審議委員：

大ヒット曲は聴いていて本当に心地良く素晴らしいが、知らない楽曲が続くことに違和感がある。目立たないように“この曲いい曲だね、この曲なんだろう”と思わせるようなフックを作る工夫があると面白いと思う。気持ちの良い曲があり、時に分からない曲が選曲されていた場合でも、知りたいと思わせるような選曲を工夫されるとよい。

◎審議委員：

これからの歌謡曲を背負う期待の新人や中堅が歌っている作品を、名曲との距離感をもう少し近づけると、耳触りが良くなると感じた。
カラオケファンには、誰もが知っている名曲やカラオケヒット曲を好んで歌うタイプと、最近気に入っているあまり知られていない曲を中心に歌うタイプなど様々。若い方達が一生懸命この歌で頑張っていると新曲を発信しても、なかなか世の中に届かない時代に、このチャンネルを通じて関心を持っていただくことは、今の歌謡界にとって非常に喜ばしいことである。

○局側回答：

店内 BGM のコンテンツとして今後どうしていくべきか、日々アップデートするよう心がけていきたい。